

編集後記

編集後記

SBI 大学院大学
紀要編集委員会 太齋 利幸

この度、SBI 大学院大学「紀要」第 12 号(2024 年度版)を刊行することができました。本紀要は、2013 年度の創刊以来、今年度で 12 回目となりました。今回も、紙媒体と電子媒体での刊行といたします。

本学の紀要では、2016 年から統一テーマを設けることにして、「フィンテック」「アントレプレナーシップ」「IoT」「リーダーシップと人間学」「イノベーション～ポストコロナに向けて～」「サステナビリティ～DX 時代の経営～」「グローバル時代のダイバーシティ経営」「不確実性下の経営」という特集を組んできました。もちろん、特集テーマ以外の論文も掲載されております。そして、今年度は、「アントレプレナーシップ～軌跡・課題・展望～」をテーマとしました。アントレプレナーシップについては 2017 年にも採り上げましたが、本学は起業家育成に力を入れている大学院であるため、アントレプレナーシップを再認識する想いも込めて、副題として「～軌跡・課題・展望～」を付け加えました。過去のアントレプレナーシップだけではなく、これからのアントレプレナーシップについての考察が見られます。

さて、世の中的にはコロナ禍は落ち着いてきたものの、ロシア、ウクライナ戦争をはじめ、イスラエル、シリアなど各地で争いが起こっています。日本においては、政治家の不祥事が目立ち、政治不信は拭えず、少数与党という状態に余儀なくされました。これを好機と捉えて国民が立ち上がる時だと思っています。特に、この 30 年、賃金や GDP がほとんど上がっておらず、“成長していない日本”ということが多くの国民に知られるようになりました。この状況を打破するためにも、一人でも多くのアントレプレナーシップを持った人間を増やしたいものです。今回の紀要がその役割の一部でも果たせたらと思います。

これまでと同様に、今回の紀要も、特集テーマ論文、一般論文、修了生論文の 3 部構成になっています。また専任教員以外に、非常勤教員、研究員、修了生から総勢 11 名の投稿をいただきました。

最後になりますが、紀要第 12 号にご執筆いただいた方々に厚く御礼申し上げます。また、論文校正、編集作業、印刷・製本などをご担当いただいた多くのスタッフの皆さまにも感謝申し上げます。次年度以降もよろしくお願いいたします。